



COE
リトリートセミナー
開催

阿蘇の大自然のなか、IMEG REPORT 若手研究者の熱い議論と交流

熊本県阿蘇市のリゾートホテル「阿蘇いこいの村」で8月25、26日の2日間、総勢70人を越える若手研究者が参加して、熊本大学21世紀COE「細胞系譜制御研究教育ユニットの構築」(拠点リーダー:田賀哲也)と発生研の共催で「第3回サマーリトリートセミナー」が開かれました。

本セミナーは分子生物学、細胞生物学、発生生物学を志す大学院生、若手研究者が互いに交流を深め議論することでより高いレベルの研究段階に到達することを目指し、平成15年から開催されています。今回は、招待講演として東工大的

田中幹子さんに「四肢の形態進化」について、東大の岡田康志さんに「左右軸形成」について、理研BSIの下郡智美さんに「脳のパターン形成」についてお話しいただきました。いずれの講師も新進気鋭の若手研究者で、参加者は最先端の興味深い話に感銘を受けました。

招待講演のほか、ポスター発表として学内のCOE参加研究室、発生研、および京大再生研より40題のポスター演題があり、共に熱い議論が交され、盛会のうちに2日間の日程を終了しました。

セミナーに参加して

同世代の研究者との出会い

〔京大再生研〕村上 未玲

非常に印象的だったのはやはり3名の招待演者の方々の発表でした。分野がまったく異なるにもかかわらずわくわくしました。その他、ポスターセッションを通して同世代の研究者の仲間ができるのがうれしかったです。特に、ポスドクになつたばかりの研究者の方々と話ができるることは来年に卒業を控えた自分にとって、大きな影響力がありました。

自分の研究に誇りをもつ
参加者の姿に感銘

〔発生研細胞複製分野〕松下 由佳

昨年に続き二度目の参加。今年は参加者全員がポスター発表を行ったので、昨年に増して活発なセミナーでした。研究に関する有益な情報交換ができるうえ、先生方、ポスドク、大学院生の方々と交流を深めることができ、とても有意義でした。講演や討論会などにおけるディスカッションを通して、参加者全員が自分の研究にとても誇りを持っていることが分かり、それが最も印象的でした。今後もこのような場に積極的に参加し、良い刺激をたくさん受けながら研究者として成長していくたいと思いました。

全員参加でより充実した
ポスターセッション

〔発生研細胞識別分野〕山下 和成

招待講演は、それぞれオリジナリティーがあり、興味深い内容でした。全員参加のポスターセッションでは、他の参加者の研究発表を聞き、考えて議論することで勉強にもなるし、自分の研究についても参考になる意見をもらえ、大変よかったです。4時間があつという間でした。食事中やセッション終了後にも他の参加者と交流する機会がありました。今回は発生研以外の所属の参加者は少なかったのですが、他の研究機関からの参加者が増えるとさらに充実した会になると思います。

COE PROGRAM

お知らせ

発生研のホームページが
リニューアルしました。

新棟移転に伴い、発生研のホームページもリニューアルしました。各分野の紹介も、より充実した内容となりました。本NewsLetterも見ることができます(PDF版)。メールが登録もできます(不定期ですが発生研情報を流します)。どうぞアクセスしてみてください。

<http://www.imeg.kumamoto-u.ac.jp/>

来年1月中旬発行予定

次号予告 特集:各分野の紹介(前編)

発生研全12分野のうち、6分野について教授へインタビュー!
研究内容だけでなく、教授の人柄、研究室の様子なども垣間見ることができる内容となっております。ご期待下さい。

IMEG REPORT:本九祭参加、COE国際シンポジウム
お知らせ・今後の予定行事

contents

- ① IMEG NewsLetter 発刊にあたり
- ②-③ 特集:新棟完成!!
本九祭に参加します
予定行事
- ④ IMEG REPORT:COEリトリートセミナー開催
お知らせ:発生研ホームページリニューアル
次号予告

Greeting

新棟完成を機に
「発生研」の活動を皆様に



発生医学研究センター長
田賀 哲也

Taga
Tetsuya



熊本大学発生医学研究センター(発生研)は、発生学的視点から生命科学と医学の統合的研究推進を図るために2000年に設置されました。発生研の系譜は1939年に設立された体質医学研究所に遡ることができます。その後、時代の要請に応じて適宜組織改編を繰り返した経緯から、これまで散在していた発生研の各研究室が、新棟に集結できることを心から喜ぶとともに、これまで以上の研究の展開を、と意気込んでいるところです。この整備事業の実現にあたり、ご支援、ご尽力いただいた方々に深く感謝し、今後の一層のご指導を心からお願いいたします。

発生研は熊本大学の一員として大学院教育に参画しており、学部学生や中高生、あるいは一般市民にはなじみが薄く、私たちの研究・教育活動を知っていただく機会が十分ではなかった点もあります。このたびの新棟完成を機会に広報活動の一環として、ニュースレターを発行することにしました。ここにご挨拶の方々、創刊号をお届けします。皆様に発生研への関心とご理解をいただけましたら幸いです。



写真1／発生研新棟(南面)



待望の発生医学研究センター
新棟が8月1日に竣工しました。

そこで、今回の特集では
できたてほやほやの新棟を
紹介します。



写真1／発生研新棟(西面)

特集 新棟完成



写真2／正面玄関



写真3／カンファレンス室



写真4／実験室



写真5／ラウンジ



写真6／屋上庭園

“知”を極める
環境づくりを。

発生研新棟(写真1)は熊本大学では初めてのPFI(Private Finance Initiative)事業(民間資金等の活用により公共施設の整備等を促進する事業)の建物です。施設引き渡し後も13年間、維持管理業務を大学ではなく民間事業者が行うことになっており、利便性や機能性を高め、研究環境の向上が期待されます。また、これまで医学部C棟とF棟に分かれていた12分野が新棟に集結し、名実ともに発生研の一体化を図ることができ、より緊密な連携や総合的運営、効率化が可能になります。

全9階建ての館内は、正面玄関(写真2)の真正面にカンファレンス室があり(写真3)、日本のみならず世界中から最先端の研究を行っている研究者たちがセミナーを行うことになっています。実験室は分野ごとの要望を取り入れ、使いやすいものとなっています(写真4)。

また、各階にラウンジが設けられ、休憩室として利用可能となっています(写真5)。さらに、カンファレンス室上には「屋上庭園」(写真6)、そして新棟正面口前にはDNA二重らせんを形取った「ゲノムガーデン」(写真7)が広がります。

このように、恵まれた環境の中、発生研は新たなスタートを切ります。



写真7／ゲノムガーデン

ほんきゅうさい 本九祭に参加します!!

第12回熊本大学医学部本九祭は10月29日、30日に行われます。

発生研は共同企画「発生学のモデル動物たち～難病に取り組む発生医学」で参加します。

今回は、発生医学研究センターで実験動物として用いている動物たちを紹介します。普段あまり見ることのない実験動物たちを実際に見たり触れることがで発生医学の世界を覗くことができ、また細胞や組織標本を顕微鏡で観察したり、胚の顕微操作の映像を見たりして、研究者の仕事を体験することができます。そのほか、最近、耳にする「ES細胞」など発生学の最前線・トピックスなどを紹介します。たくさんの方のお越しをお待ちしています。是非お立ち寄りください。

発生学のモデル動物たち～難病に取り組む発生医学
(発生医学研究センター共同企画)

◆日時:10月29日(土)、30日(日)、両日とも11:00～17:00
◆会場:発生医学研究センター 1階カンファレンス室(予定)

本九祭2005公式ウェブサイト <http://www.geocities.jp/honkyusai2005/>



I N F O R M A T I O N ●今後の予定行事

本九祭 (詳細は左記を御覧ください)

「発生学のモデル動物たち～難病に取り組む発生医学」

- 日時:10月29日(土)、30日(日)、両日とも11:00～17:00
- 会場:発生医学研究センター 1階カンファレンス室(予定)

COE国際シンポジウム

The 2005 Kumamoto University COE Symposium on Cell Fate Regulation

- 会期:11月7日(月)9:30(予定)
- 会場:遺伝子実験施設(GTC)6階講議室(予定)
- 主な講演者:

Dr. Azad Bonni(Harvard Medical School, USA)、Dr. Jon Frampton(Birmingham University, UK)、Dr. Giovanni Levi(CNRS, France)、Dr. Virginia E. Papaioannou(Columbia University, USA)、Dr. Anne Grapin-Botton(ISREC, Switzerland)、Dr. Nobue Itasaki(MRC, UK)

発生医学研究センター新棟竣工披露式

- 会期:11月22日(火)15:00(一般参加はできません)

京大再生研・理研CDB・ 熊大発生研 ジョイントフォーラム

■会期:平成18年1月30日(月)午後フォーラム開始、夕方懇親会

平成18年1月31日(火)午前中フォーラム、昼頃散会

■場所:発生医学研究センター1階カンファレンス室(予定)

■演者:各研究機関で調整中

大学院入試情報

【薬学教育部博士前期課程第2次募集】

■出願期間:11月1日(火)～4日(金)

■試験日:12月1日(木)

<http://www.pharm.kumamoto-u.ac.jp/phagrad/nyushi/index.html#D>

【医学教育部(修士課程・博士課程)春期日程】

■出願期間:【修士・博士とも】平成18年1月5日(木)～11日(水)

■試験日:【修士課程】1月26日(木)

【博士課程】2月13日(月)、14日(火)

<http://www.medphas.kumamoto-u.ac.jp/admission1.html>